

米国 Bedford Materials 社製 WH90 エポキシレジンの特徴

Bedford Materials社（旧ウエスチングハウス社）製のダイヤモンドパターン紙に使用されるWH90エポキシレジンとは従来品に取替り省エネ効果、生産性の向上、環境配慮などを考慮し1998年にパテント品として新に開発された水溶性のエポキシレジンシステムであり、現在まで世界各国の多くのユーザーに使用されており、以下のような特徴を持っています。

■変圧器の冷却効果を高めます。

WH90 は水溶性エポキシレジンを使用しており、塗布されたレジンとは紙表面上に留まります。他社製の溶剤ベースのエポキシレジンとは異なり、紙中へのレジンの浸透が殆どないためトランス油の含浸性が良化され変圧器の冷却効果を高めます。

■高温キュアーでの熱劣化がない。

低温短時間キュアーレジンシステムであるが、高温キュアーでの熱劣化はない。当レジンとはウエスチングハウス社が今までに開発した最良のレジンであり、レジンシステムは熱分析上 180℃用途に対応できる極めて熱安定性の良いレジンです。

■ガラス転移温度（TG）が従来品より高温である。

従来品：311℃、 WH90：371℃
従って、120℃－130℃等で 20 時間前後キュアーされても WH90 レジンシステムの熱劣化は発生しません。

■環境配慮したレジンシステムである。

米国環境規格に合格しており、環境上、健康上問題となるフェノール系物質を含んでいない環境安全タイプのレジンです。

■保存期間

室温 21℃・湿度 50%で管理された場合は無期限であり、また通常の非空調倉庫では製造後 1～1.5 年と考えられます。また弊社では高温状態で米国から日本へ輸送する夏期は Reefer と言われる低温（約 21℃設定）コンテナで輸送し、通年、室温 13℃～25℃・湿度 50%～60%で管理設定された定温倉庫で保管しております。